

令和2年度 土木学会西部支部沖縄会 総会

1. 審議内容

【第1号議案】

令和元年度報告（案）

- ① 令和元年度 事業報告（案） ————— P2
- ② 令和元年度 収支決算書（案） ————— P31

【第2号議案】

令和2年度事業（案）

- ① 令和2年度 主要事業計画（案） ————— P33
- ② 令和2年度 予算書（案） ————— P36

【第3号議案】

沖縄会会長及び会計監事の選出について（案） ——— P37

2. その他

特別会員B（団体）の退会・新規入会について

【参考資料】

- 参考－1 沖縄会特別会員B名簿 ————— P41
- 参考－2 土木学会西部支部 沖縄会 規約 ————— P42

令和元年度 事業報告

1. 沖縄会運営委員会 (R1 .6 .5) 厚生会館多目的ホール 参加 : 18 名 (委任状含む)
2. 沖縄会定期総会 (R1 .6.5) 厚生会館多目的ホール 参加 : 48 名 (委任状含む)
3. 講演会の開催
講演会『インフラセンシングの実用化技術と近未来展望 ~society5.0 の社会インフラへの戦略的展開 ~』(R 元年.9.25) 参加 : 136 名
【主催 : 沖縄会】 場 所 : 沖縄県立博物館・美術館 講堂
4. 講習会等の開催
「高炉スラグ細骨材を用いたプレキャストコンクリート製品の設計・製造・ 施工指針 (案)」の
発刊に伴う講習会 (R 元年.9.17) 参加 : 33 名 【主催 : 沖縄会】
場 所 : 琉球大学地域創生総合研究棟 1F 多目的ホール
5. 技術研究発表会等
土木学会西部支部沖縄会 第 9 回技術研究発表会 (R2 年.1.8)
【主催 : 沖縄会】 場 所 : 西原町 琉球大学 研究者交流会館・50 周年記念会館
6. 広報活動
 - ①「橋の日」活動 (R1.8.7) 琉球大学 (球陽橋) 参加 : 4 4 名
【主催 : 沖縄会、共催 : 琉球大学工学部環境建設工学科、琉球大学土木同窓会、内閣府沖縄総
合事務局開発建設部、沖縄県土木建築部、琉大工学部環境建設工学科土木コース(学生)
(一社)沖縄県測量建設コンサルタンツ協会】
 - ② 土木の日シンポジウム
『建設業界での多様な人材の活用に向けて ~女性の技術力活用が組織の生産性を向上させる
~』(R1.11.6)
【主 催 : 沖縄の土木技術を世界に発信する会】
場 所 : パレット市民劇場 参加者 : 2 2 6 名
7. 土木技術者の確保・育成の取組
・人材確保・育成 WG 西原町 琉球大学 地域創生総合研究棟
(WG 活動内容:PR ポスター(No.17 ~No.22)を作成し、県立・私立高校へ配布および沖縄会 HP へ
掲載)
- 8 現場見学会
・高校物理教諭を対象とした現場見学会 (人材確保・育成 WG と連携)
日時 : 2019 年 8 月 9 日(金) 13:30~15:30
場所 : 宜野湾北中城線

9. インフラの劣化予測と残存性能の診断に関する小委員会

・インフラ構造物の維持管理診断技術に関する調査研究の実施.

委員：大学2名，沖総局8名，NEXCO3名，しまたて1名，民間9名，沖縄県0名

委員会：委員会1回(6/13)，委員会作業5回(6/14, 7/12, 7/25, 8/23, 9/27~9/31など)

活動内容：塩分センサによる塩分量測定，磁気を利用した非破壊検査の技術検証，
音伝播特性による疲労き裂探傷技術の検討

10.その他

幹事会

- | | | |
|-----------------------|---------|------------------|
| ① 第一回幹事会 (H31 .4 .16) | 沖縄総合事務局 | 参加者：17名(委任状含む) |
| ② 第二回幹事会 (R2.3 .30) | 沖縄総合事務局 | 参加者：8名(コアメンバーのみ) |
| ③ 第三回幹事会 (R2. 6.8) | WEB会議 | 参加者：17名(委任状含む) |

令和元年度 土木学会西部支部沖縄会 講演会報告書

(1) 実施要領

講演題目：「インフラ センシングの実用化技術と近未来展望

～Society5.0 の社会インフラへの戦略的展開～

主催：土木学会西部支部沖縄会

共催：インフラメンテナンス国民会議 沖縄フォーラム

日時：2019年9月25日 14:00～17:00

場所：沖縄県立博物館・美術館（講堂） 沖縄県那覇市おもろまち 3-1-1

定員：210名

(2) プログラム

講演1 「センシング技術を用いた構造物の損傷評価」

田井 政行（琉球大学工学部附属地域創生研究センター 助教）

特別講演1 「鋼構造物の磁気を用いた非破壊検査」

塚田 啓二（岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科電気通信工学科 教授）

特別講演2 「人口減少社会における ICT 技術の活用」

菅沼 久忠（株式会社TTES 社長）

(3) 参加者

136名（事前申込：211名）

(4) 当日の様子



令和元年度 土木学会西部支部沖縄会 講習会 報告書

(1) 実施要領

「高炉スラグ細骨材を用いたプレキャストコンクリート製品の設計・製造・施工指針（案）」の発刊に伴う講習会

主 催：土木学会西部支部沖縄会
日 時：2019年9月17日（火） 13:00～17:30
定 員：50名（申込先着順）
参 加 費：無料（当日、指針を無料で配布します。）
会 場：琉球大学地域創生総合研究棟 1F 多目的ホール

(2) プログラム

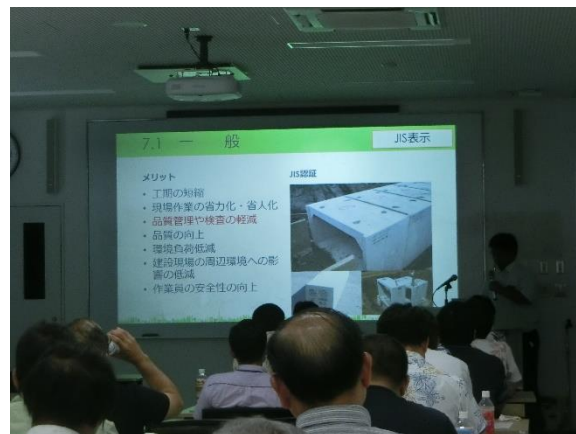
[司 会] 須田 裕哉（琉球大学）

13:00～13:10	開会の挨拶	山田義智（琉球大学）
13:10～14:00	全体説明	綾野克紀（岡山大学）
14:00～14:15	1章 総 則	佐川康貴（九州大学）
14:30～15:00	2章 BFS の品質，3章 BFS コンクリートの品質	佐川康貴（九州大学）
15:00～15:30	4章 設 計	二井谷教治（オリエンタル白石）
15:45～16:20	5章 配 合，6章 製 造，7章 施 工	藤井隆史（岡山大学）
16:20～16:40	8章 品質管理，9章 検 査	細谷多慶（ランデス）
16:40～17:20	【特別講演】 ひび割れ画像解析の検討	富山 潤（琉球大学）
17:20～17:30	閉会の挨拶	富山 潤（琉球大学）

(3) 参加者

33名

(4) 当日の様子



第9回 土木学会西部支部沖縄会

技術研究発表会

琉球大学 研究者交流会館・50周年記念会館

2020年1月8日

発表プログラム



土木学会西部支部沖縄会

会場案内



琉球大学西原口を入り、構内の信号を左に曲がり、左手すぐ。

○ 土木学会継続教育 (CPD) , CPDS 認定プログラム

発表プログラム

2020年1月8日

Time Table

Start	End	プログラム	
9:30	10:00	受付・登録	
10:00	10:15	開会式 〈Room : A〉 開会の挨拶：矢吹 哲哉 (沖縄会会長・琉球大学名誉教授)	
10:15	10:30	Break	
10:30	12:00	Session 1 〈Room : A〉 9編 (診断・補修・補強) 座長：和田吉憲 (NEXCO西日本)	Session 2 〈Room : B〉 7編 (建設・整備) 座長：神谷大介 (琉球大学)
12:00	13:00	Lunch	
13:00	14:30	Session 3 〈Room : A〉 7編 (防災・環境) 座長：田井政行 (琉球大学)	Session 4 〈Room : B〉 8編 (交通・計画・景観) 座長：須田裕哉 (琉球大学)
14:30	14:40	Break	
14:40	16:10	Session 5 〈Room : A〉 7編 (計測・IoT) 座長：和田賢哉 (沖縄総合事務局)	Session 6 〈Room : B〉 8編 (塩害・腐食) 座長：多和田真忠 (沖縄県)
16:10	16:25	Break	
16:25	16:40	閉会式 〈Room : A〉 優秀発表者賞の表彰：小口 浩 (沖縄会副会長・沖縄総合事務局) 閉会の挨拶：上原 国定 (沖縄会副会長・沖縄県)	

Presentation Schedule

Titles and Authors

○発表時間：7分、質疑応答：3分

○概要集：2頁～6頁（原則、偶数頁）

○注意事項

- ・発表者は、各発表セッション開始前に発表パワーポイントを会場パソコンにインストールし、動作状態を確認すること。
- ・発表者および聴講者は、土木学会西部支部沖縄会の会員登録をしてください。なお、土木学会正規会員または学生は登録の必要はありません。

Time	Room A
10:30 ↓ 12:00	<p align="center">Session1：診断・補修・補強 座長：和田吉憲 (NEXCO西日本)</p> <ol style="list-style-type: none"> 伊那嘉原橋橋梁補修工事について 沖縄県北部土木事務所 島袋 恵一 混合桁橋の温度変化が接合部PC鋼材の張力に及ぼす影響に関する検討 沖縄総合事務局 南部国道事務所 普天間 剛志, 勢理客 一之 炭酸化によるセメント硬体の変質と気体の拡散性状に関する基礎的研究 琉球大学 立原 知実, 須田 裕哉, 藍檀 オメル, 富山 潤 高炉スラグ微粉末を用いたセメント硬化体の炭酸化収縮に関する基礎的研究 琉球大学 安藤 大晃, 須田 裕哉, 富山 潤, 藍檀 オメル 部位・材毎の環境外力を考慮したコンクリート橋上部工補修時期の検討 琉球大学 崎山 愛利, 富山 潤, 須田 裕哉, 藍檀 オメル ステンレス鋼と炭素鋼の突合せ溶接継手の強度特性に関する基礎的研究 琉球大学 塚本 翼, 荒牧 聡, 下里 哲弘, 田井 政行 低温低圧型溶射(ノールドスプレー)の施工速度と防食皮膜の成膜特性に関する研究 琉球大学 新田 健太, 坂崎 稜, 田井 政行, 下里 哲弘 腐食鋼桁端部の当て板ボルト補修に関する研究 琉球大学 横田 拓己, 田井 政行, 下里 哲弘 腐食凹凸面に対する防食皮膜厚とすべり耐力に関する研究 琉球大学大学院 坂本 健太, 下里 哲弘, 田井 政行
	<p align="center">Room B</p> <p align="center">Session2：建設・整備 座長：神谷大介 (琉球大学)</p> <ol style="list-style-type: none"> 県道20 号線 (泡瀬工区) 橋梁整備事業におけるコンクリート構造物品質確保の取り組みについて 沖縄県中部土木事務所 山田 義琢, 小島 健太郎 国際通りむつみ橋の補修工事について～閉塞された空間での施工事例紹介～ 沖縄県南部土木事務所 照屋 洋八 北部国道管内における橋梁保全の取り組み 沖縄総合事務局北部国道事務所 照屋 淳, 高良 茂宏 東村平良における国道331号災害復旧工事について 沖縄県土木建築部 照屋 将司, 山入端 雅也, 仲吉 慶洋 那覇空港滑走路増設事業における越波対策について 沖縄総合事務局那覇港湾・空港整備事務所 玉城 侑, 荒木 幸宏 A I 技術を用いたトンネル切羽評価システムの開発と現場導入 飛鳥建設・大名嘉組特定建設工事共同体 宇都宮 基宏, 福山 一世, 能田 浩文, 宮里 智行, 飛鳥建設(株) 鈴木 亮汰, 兼松 亮, 沖縄総合事務局北部国道事務所 伊佐 真幸, 城間 健男 A Case Study on Signal Control optimization of Oblique Dislocated Leg Intersection Toyota Transportation Research Institute (TTRI) ANDO Ryosuke, Chongqing Jiaotong University LIU Wei

Time	Room A
13:00 ↓ 14:30	<p align="center">Session3：防災・環境 座長：田井政行 (琉球大学)</p> <ol style="list-style-type: none"> 移設サンゴの種類別生残・成長特性に関する考察 沖縄総合事務局石垣港湾事務所 大城 祥慎, 前里 尚 めがねトンネル周辺の応力場と安定性に関する研究 琉球大学 玉城 道雄, 藍檀 オメル, 富山 潤, 須田 裕哉 波力を受けるテールアルメ工法を用いた擁壁の挙動に関する実験的研究 琉球大学 相川 哲平, 藍檀 オメル, 堀内 浩貴 落石の到達距離に関する実験的考察 琉球大学 村山 有祈, 堀内 浩貴, Nazlı TUNAR ÖZCAN, 藍檀 オメル 島尻層泥岩における直接基礎の支持力について (案) (株)中央建設コンサルタント 多和田 伸, 棚原 真助, 間 弘昭, 鶴田 諒明, オリエンタル白石(株) 大内 正敏, 琉球大学名誉教授 新城 俊也 自主防災活動に繋がる防災ワークショップの発話分析 琉球大学 吉濱 佑太, 神谷 大介, 城間 聖, 山中 亮, 我部 新, 赤星 拓哉, 金城 太一, 長曾我部 ま どか, 榊原 弘之 被災経験・自主防災活動と水害時避難の関係に関する分析 2017年九州北部豪雨を対象として 琉球大学 赤星 拓哉, 神谷 大介
	<p align="center">Room B</p> <p align="center">Session4：交通・計画・景観 座長：須田裕哉 (琉球大学)</p> <ol style="list-style-type: none"> 調査による手数料支払い行動の変化について 北海学園大学 堂柿 栄輔, 東海大学 梶田 佳孝 バス利便性の違いからみた利用意図に関する基礎的考察 琉球大学 大城 好奈, 神谷 大介 Wi-Fiパケットセンサーを用いた八重山地域の離島周遊観光実態調査 琉球大学 好田 徹, 神谷 大介, 山中 亮, 我部 新, 赤星 拓哉, 岩崎 竜馬, 福田 大輔, 菅 芳樹 IoTデバイスを用いた旅行速度計測実験 西表島を対象として 琉球大学 我部 新, 神谷 大介, 赤星 拓哉, 好田 徹, 岩崎 竜馬, 山中 亮, 福田 大輔, 菅 芳樹 大型連休期間における沖縄県北部地域の渋滞緩和に向けた実証実験について 沖縄総合事務局北部国道事務所 平敷 健太, 渡久山 雄一, 森山 正三 訪日外国人レンタカーへのピンポイント事故対策について 沖縄総合事務局道路建設課 濱川 昌丈, 具志堅 清一 平良港国際クルーズ拠点整備事業における岸壁部の景観検討について 沖縄総合事務局平良港湾事務所 新垣 大, 石橋 透 沖縄県の景観形成～沖縄らしい風景づくり～ 沖縄県土木建築部 志良堂 貴紘

Time	Room A
	<p data-bbox="349 213 1003 236">Session5：計測・IoT 座長：和田賢哉 (沖縄総合事務局)</p> <ol data-bbox="203 248 1003 756" style="list-style-type: none"> 1. 強風環境下における橋梁高欄トップレールの振動特性に関する研究 琉球大学 正岡 亮, 下里 哲弘, 田井 政行 2. 鋼製アンカーボルトの腐食減肉計測技術に関する研究 琉球大学 富永 泰志, 淵脇 秀晃, 下里 哲弘, 田井 政行 3. 音伝播特性を用いた機械学習による塗膜上からの疲労き裂検出技術に関する研究 琉球大学 山本 修大, 田井 政行, 下里 哲弘, 東京工科大学 天野 直紀 4. ASR劣化したコンクリート構造物の詳細調査に対するX線回折法の適用性検証 琉球大学大学院 古田 泰祐, 富山 潤, 須田 裕哉, 藍檀 オメル, (株)沖縄建設技研 牧野 敏明, 宮城 敏明, (株)オリエンタルコンサルタツツ 黒川 直哉, 田中 樹由, パルステック工業(株) 青野 嘉幸, 山口 真 5. 住宅IoTによる構造変化推定のための振動計測性能評価 東京工科大学 王 誠, 天野 直紀, 京都大学 中川貴文, SMRC株式会社 半澤 和夫 6. 音伝播特性に基づいたPICフォームの含浸率推定 東京工科大学 丁宇浩, 李昊宇, 天野 直紀, マテラス青梅工業株式会社 斯真田 隆一, 鶴田 健 7. BIM/CIMの活用報告(小緑道路橋梁詳細設計)について 沖縄総合事務局南部国道事務所 原田 圭大, 松川 剛
14:40 └	Room B
16:10	<p data-bbox="349 825 1003 847">Session6：塩害・腐食 座長：多和田真忠 (沖縄県)</p> <ol data-bbox="203 860 1003 1394" style="list-style-type: none"> 1. コンクリートにおける表面被覆材の塩害防止効果 沖縄総合事務局那覇港湾・空港整備事務所 富田 和之, 石垣 里彦 2. 台風により供給される塩化物イオンがコンクリート構造物の塩害に及ぼす影響 琉球大学 尾崎 睦, 富山 潤, 須田 裕哉, 藍檀 オメル 3. コンクリート表面の付着塩分洗浄に対するウルトラファインバブル水の適用性検証 琉球大学 金城 聡一郎, 富山 潤, 須田 裕哉, 藍檀 オメル, マルヤマエクスセル(株) 高橋 永治, (株)ティ・エスプランニグ 佐藤 智, オリエンタル白石(株) 渡瀬 博 4. 鋼桁橋内外面の腐食環境要因に関する研究 琉球大学 前原 匡, 下里 哲弘, 淵脇 秀晃, 田井 政行 5. 高力ボルトの透明型防錆キャップの耐候性に関する研究 琉球大学 井上 佳紀, 田井 政行, 下里 哲弘, 淵脇 秀晃, IHI 岩本 達志 6. 鋼橋の高力ボルト継手部に対する防食皮膜性能の基礎的研究 琉球大学 坂崎 稜, 下里 哲弘, 田井 政行 7. 各種めっきボルトの防食性能評価 琉球大学 江田 英輔, 田井 政行, 淵脇 秀晃, 下里 哲弘, 東京ファブリック工業(株) 木村雅昭 8. 厳しい腐食環境下における橋梁支承モデルの大気暴露試験ー125ヶ月経過の報告ー 東京ファブリック工業(株) 木村 雅昭, 琉球大学 下里 哲弘, 田井 政行, 江田 英輔

『橋の日』イベント

実施報告書

令和元年 8月

主催：土木学会西部支部沖縄会

1. 「橋の日」活動の概要

8月4日は「橋の日」として、私たちの生活と文化に密接なかかわりを持つ橋に感謝を込めて、橋の清掃活動を行っている。本活動は現在、全国47都道府県すべてに広がり、沖縄県では平成23年度以降連続開催し今年9回目を実施するものである。

2. 「橋の日」活動の目的

- 橋に感謝し、橋の歴史や構造を学ぶ。
- 橋に感謝し、橋とのふれあいの日にする。
- 橋に感謝し、橋を大事にする心を育む。

3. 主催等

主 催：土木学会西部支部沖縄会

4. 共催（参加協力）

- ：琉球大学工学部工学科社会基盤デザインコース（学生）
- ：琉球大学土木同窓会
- ：内閣府沖縄総合事務局開発建設部
- ：沖縄県土木建築部
- ：（一社）沖縄県測量建設コンサルタンツ協会（測建協）

5. 活動内容

日付：令和元年8月7日（水）

時間：午前10時～11時まで

場所：琉球大学 球陽橋（琉球大学内）

集合：琉球大学 球陽橋（大学会館・理学部付近橋詰広場、別紙参照）

- 内容：
- 学生による橋に関する説明
 - 測建協の出前講座（学童クラブ不参加のため中止）
 - 糸満高架橋及び周辺の清掃（雨天のため中止）
 - 橋のふしぎ探し（学童クラブ不参加のため中止）

6. 参加者

- 中城村 大育学童クラブ
- 琉球大学
- 沖縄総合事務局開発建設部
- 沖縄県土木建築部
- 琉球大学土木工学科・環境建設工学科土木同窓会
- （一社）沖縄県測量建設コンサルタンツ協会
- 土木学会西部支部沖縄会 会員

7. 当日のスケジュール（雨天のためスケジュール変更）

時刻	内容	留意点
9：45	集合場所：琉球大学球陽橋橋詰広場	大学会館・理学部付近 別紙参照
10：10	球陽橋前で記念撮影	
10：15	大学会館へ移動	
10：25	開会式	司会：幹事長
	開会あいさつ	沖縄会会長
10：30	球陽橋 概要説明	琉球大学学生
10：40	橋梁に関する講座（挨拶のみ）	測建協
10：45	閉会あいさつ	琉球大学土木同窓会長
10：50	集合写真撮影	

※集合、説明場所は球陽橋橋詰広場（別紙参照）

8. 実施にあたっての役割分担等

(1) 費用負担

- 土木学会西部支部沖縄会：昼食代、軍手代（80組）、学童クラブご褒美代、保険（琉大学生30名、学童クラブ40名）+α
- 琉球大学土木同窓会：Tシャツ代

(2) 役割分担

- 実施計画書作成：技術・建設業課
- 記者発表：技術・建設業課
- 昼食手配、保険の手続き：技術・建設業課
- 飲み物、学童クラブご褒美：技術・建設業課
- Tシャツ準備：琉球大学土木コース学生
- ゴミ袋、軍手、マイク、カメラ：技術・建設業課
- 当日の司会：幹事長
- 当日の監督係：沖縄総合事務局、琉大同窓会
- 管理者への許可申請：技術・建設業課（必要無し）
- ゴミ処分：南部国道事務所

<備考>

- 第1回（H23.8.8） 国道58号 明治橋
- 第2回（H24.8.3） 国道329号 とよみ大橋
- 第3回（H25.8.2） 国道58号 新牧港橋
- 第4回（H26.8.6） 県道那覇内環状線 那覇大橋
- 第5回（H27.8.12） 県道11号線 真玉橋
- 第6回（H28.8.9） 与根高架橋
- 第7回（H29.8.9） 金城ダム公園内・ヒジ川橋

琉球大学内 球陽橋 位置図

別紙1



琉球大学内 球陽橋橋詰広場 位置図

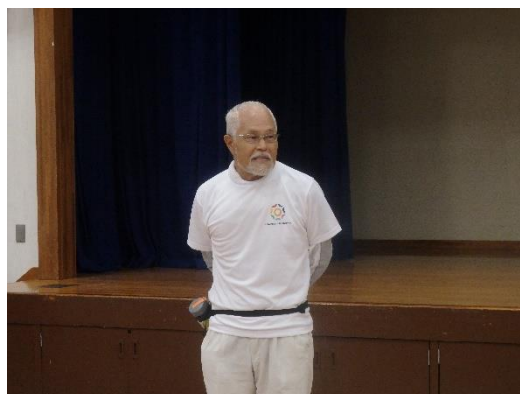
別紙2



9.作業風景

(1)開会式あいさつ

下里先生の司会の下、矢吹会長による「橋の日」活動の目的及び概要説明が行われました。なお、台風接近に伴う荒天のため、学童クラブの参加は中止となりました。



(2)球陽橋についての説明

琉球大学学生による劇による橋の説明が行なわれました。なお、予定していた沖縄県測量建設コンサルタンツ協会による橋の構造についての出前講座は学童クラブ不参加のため中止となりました。



(3)清掃活動

当日は荒天のため、清掃活動は中止となりました。

(4)閉会の挨拶

琉球大学土木同窓会の儀間会長による閉会の挨拶が行われました。



(5)記念撮影



建設業界での 多様な人材の 活用に向けて

～女性の技術力活用が組織の生産性を向上させる～



【基調講演】-----

建設現場の生産性向上の取り組み等について
岡村 次郎 国土交通省 大臣官房 技術調査課長

【トークセッション】-----

進行

山城 一美 沖縄職業能力開発大学校
住居環境科 教授

テーマ講演者

宮崎 忍 福井コンピュータ(株)沖縄オフィス

木下能里子 (株)国建 地域計画部
首席研究員(部付部長)

川中 留美 沖縄総合事務局開発建設部
建設産業・地方整備課 都市整備係長

大城 敬子 (株)屋土土建 土木本部
現場技術員

糸数 幸恵 (株)丸元建設
代表取締役社長

2019
令和元年

11月6日 水

13:00-17:00

12:30 受付開始

パレット市民劇場

パレットくもじ9階

主催 沖縄の土木技術を世界に発信する会 (土木学会西部支部沖縄会)

(公社)土木学会西部支部沖縄会・琉球大学工学部工学科・(公財)沖縄県建設技術センター・
(一社)沖縄県建設業協会・(一社)沖縄県測量建設コンサルタンツ協会・
(一財)港湾空港総合技術センター・(一社)沖縄しまたて協会

後援 「土木の日」沖縄地区実行委員会

沖縄総合事務局開発建設部・沖縄県土木建築部・那覇市都市みらい部・琉球大学工学部工学科・
(一社)沖縄しまたて協会・(一社)沖縄県建設業協会・(一社)日本建設業連合会九州支部

NHK 沖縄放送局、琉球放送・琉球朝日放送、沖縄テレビ放送、琉球新報社、沖縄タイムス社、沖縄建設新聞

入場無料
定員:400名

CPD・CPDS
対象講座

お問い合わせ

「沖縄の土木技術を世界に発信する会」事務局
一般社団法人 沖縄しまたて協会 企画部企画課
TEL.098-879-2087 FAX.098-874-5301
E-mail shinpo@shimatate.or.jp

土木学会西部支部沖縄会幹事会人材確保・育成 WG 令和元年度活動報告

WG 名	人材確保・育成 WG	WG 長	神谷 大介	幹事長	仲松 辰弥
活動期間	平成 31 年 4 月 ～ 令和 2 年 3 月				
活動目的	<p>沖縄県内における土木技術者の人材不足に鑑み、短期的・中長期的な人材確保・育成が必要である。このため、短期的には人材確保のための活動、中長期的には土木に興味・関心を持つ児童・生徒を増加させるための取り組みを行い、上記課題の解決に資することを目的とする。</p>				
メンバー構成	<p>琉球大学:神谷准教授(WG 長)、下里准教授、富山准教授 (公財)沖縄県建設技術センター:試験研究部長(幹事長) 沖縄総合事務局:技術管理官、技術管理課長 沖縄県:技術・建設業課 建設業指導契約監 (一社)沖縄県建設業協会:理事 (一社)沖縄県測量設計コンサルタント協会:専務理事 (一社)沖縄しまたて協会:技術環境研究所技術環境部長 (株)沖縄建設新聞:参与</p>				
活動報告	<p>高校生向け土木技術者 PR 用ポスター No.17～No.22 作成し、県立高校 59 校及び私立高校 4 校へ配布。沖縄会 HP に掲載。</p>				
今後の活動計画と目標 (令和 2 年度)	<p>昨年度と同様に高校生向けポスターの作成と配布、高校教諭との連携を行う。また、土木学会 教育企画・人材育成委員会とも連携し、目的に対して有効な取り組みに関する情報共有と活動実施を行う。</p>				



◆ 下水道建設事務所のご紹介

- ・ 沖縄県での取り組み事例
- ・ 将来性・必要とされる免許資格

仕事の紹介

下水道は、家庭や工場から毎日排出される汚れた水を浄化センターできれいな水へ処理してから海や川へ放出することにより、沖縄のきれいな海を守っています。下水道がなければ、海や川に直接汚れた水が流入することになり、沖縄のきれいな海が汚染されてしまいます。

下水道事業の魅力は、基礎的学術分野を横断する総合科学であり、土木工学、建築学、機械工学、電気工学、化学、生物学、経営学など幅広い学問を横断し、それぞれが活躍できる職業です。

「下水道建設事務所」では、市町村の下水道(公共下水道)で集められた下水をまとめて処理するため、下水処理場施設(浄化センター)やポンプ場及び管渠等の建設整備を進めています。

浄化センターは、いつでも見学できますので、ぜひ、現場を見に来てください。



【写真】沖縄本島中南部西海岸(1969年頃)



【写真】下水道により「キレイな海」を創出(現在)

沖縄県での取り組み事例

- 米国民政府時代(1960年代)、沖縄本島中南部の急速な都市化による海洋・河川汚染問題が発生。
- 水質汚濁の改善を図るため、1964年(S39)に中南部統合下水道事業(現中部流域下水道)に着手。
- 流域下水道事業により「キレイな海」、「すてきな街」、「さわやかな暮らし」を創出。
- 下水道事業着手50年が経過した今、豊かな自然環境を生かした沖縄観光は、県経済を牽引。

「下水道の顔」マンホール蓋

Message

私が沖縄県(下水道建設事務所)に採用されて1年たって感じたことは規模がでかいということです。浄化センターは広いですし、設置されている設備も大きいです。さらに、発注する工事の金額も億超えと、社会人1年目の私には衝撃的でした。

下水道は新しい技術がどんどん出てくるので、どの技術を使えば効率よくできるかを考えたりするのが楽しいと思います。興味があればぜひ下水道に！

仲本 賢吾 那覇国際高校/琉球大学卒



将来性: 汚水を処理する際に発生する、汚泥・消化ガス・熱を再利用する技術が開発されており、循環型社会に貢献する期待値はかなり高い。

将来性 or 免許資格



● 安心・安全・豊かな暮らしを支える建設業の仕事紹介

- ・道路、トンネル、橋梁、港湾、空港など社会基盤の構築
- ・自然と調和した住みよい環境づくりへの取り組み

株式会社 大米建設

仕事紹介



トンネル工事



道路工事



空港工事



モノレール工事



港湾工事



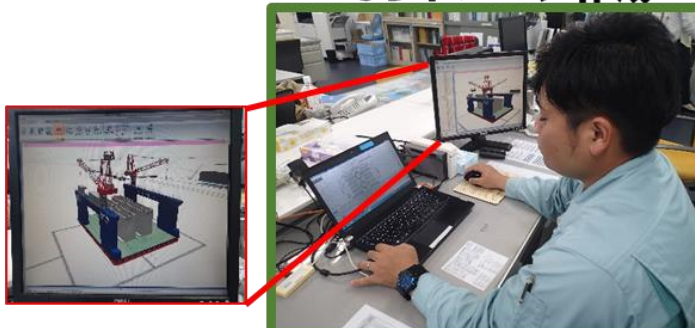
橋梁工事

他にも…

施工図面作成



3Dイメージ作成



ダム



当社について

大米建設は、1962年に陸上運送業「宮古交通」として発足したのが始まりです。

激動の時代の中、幾多の困難もありましたが、社員一丸となって創意工夫を重ね、業務を拡大してきました。

当社土木部は、道路整備・上下水道・ダムの整備・港湾整備・インフラ整備を充実し、快適な社会づくりと、自然と調和した住みよい環境づくりの創造・実現を目指し、皆様の安全・安心・豊かな生活を過ごせるよう、強い使命感を持って仕事を行い、これからも離島県である沖縄で、地域のために尽力していきます。

Message

現場を無事に無事故・無災害で納めた時に、やりがいを感じます。日々意識している安全第一が実を結び、工事完成検査を終えた後の達成感は、何事にも代えられない喜びを感じ、また次へのステージに向けて意欲が湧いてきます。これからも、皆様の生活の支えになれるよう頑張ります。

株式会社 大米建設
土木部 上地 和樹
八重山商工高等学校
(東海工業専門学校/土木工学科 卒)



DAIYONE

●開発建設部建設工務室のお仕事紹介



仕事の紹介 **i-Construction** ~建設現場の生産性革命~

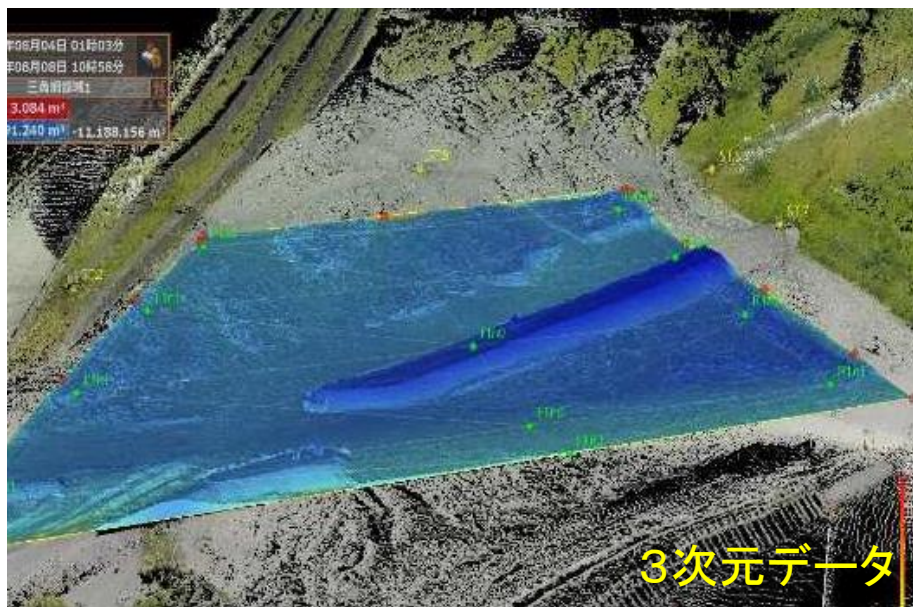
◆皆さんは土木の仕事について、どんなイメージを持っていますか？
「危険・きつい・汚い」という「3K」のイメージがありますか？

◆現在、魅力ある建設現場を実現させる取組「**i-Construction**~建設現場の生産性革命」を沖縄総合事務局で進めており、その中の1つ「**ICTの全面的な活用（ICT土工）**」について紹介します。

①距離や面積などを計測する測量作業に**UAV**（通称ドローン）を使用。 ②工事図面を**3次元データ**（3D）に変換。 ③3次元データをバックホウ機械にインプットし、**マシンコントロール機能**によって土の掘削等を迅速かつ正確に施工。
⇒その結果、従来の施工方法と比較して作業効率が上がり、生産性が向上します。

◆その他、様々な取組を進めており、土木の仕事が「**給与がよい・休暇がとれる・希望がもてる**」という「**新3K**」の実現を目指しています。

取り組み事例



Message

旧：中部工業高校（現：美来工科高校）卒 伊佐 充

沖縄総合事務局 開発建設部は、道路・港湾・空港・ダム・営繕等、国の事業に関する仕事を実施していて、やりがいのある仕事です。私は現在、i-Constructionの推進に向けた仕事をしています。皆さんも将来、社会基盤を整備する仕事で一緒に働きませんか？



● (株)中央建設コンサルタントの仕事紹介



仕事の紹介

(株)中央建設コンサルタント

沖縄を、もっと魅力あふれる島にしたい。

「沖縄を魅力あふれる島にするために、何が必要なのか」をテーマとして、弊社では沖縄を支える社会資本整備に関する「企画・提案」から取り組んでおります。沖縄県民の実態やニーズなどを「調査」して、今までの成り立ちを大切にしながら今・将来を見据えた「計画」を立案し、丁寧な「測量・地質調査」による現地調査結果をもとに、沖縄の自然・風土に合った「設計」を行い、想いを形として作り上げていく「施工管理」まで携わっております。また、近年では今まで築き上げてきたものを大事に活用し、度重なる災害から守るという観点から「維持・管理・防災」にも取り組み、沖縄の美らしまづくりを総合的にサポートいたします。

①最新技術導入支援



②海外視察(自転車施策)



③交通施設設計



(株)中央建設コンサルタント

2018.1.4

Message

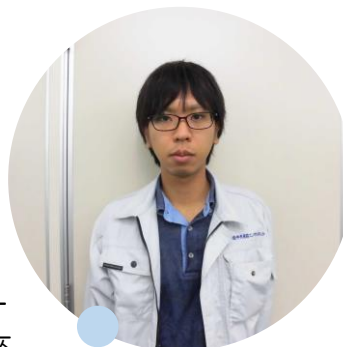
弊社は1963年に設立、「企画・提案」から「施工管理」まで、総合的に土木分野でお仕事をしています。

近年では、これまで積み上げてきた経験に加え、大学や企業との連携を行いながら、最先端技術や県内外の事例など、様々なことを勉強しながら日々業務に取り組んでいます。

大学で学んだ知識を生かしたい人、また、そうでなくても沖縄をよくするため働いてみたい人大歓迎です。

沖縄をもっと魅力ある島にするために一緒にお仕事してみませんか？

金城 太一
浦添高校/琉球大学工学部卒





建設コンサルタントの紹介

- ・建設コンサルタントの役割と仕事内容
- ・沖縄県での取り組み事例

仕事の紹介

株式会社 国建

株式会社国建は、創立（1960年）以来半世紀を超える歴史を積み重ねてまいりました。その間、沖縄の発展に資する多くのプロジェクトを担当させていただきました。

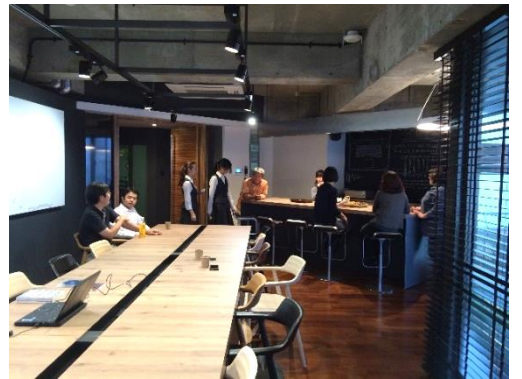
各種調査（基礎調査、マーケティング調査、各種計画の立案、産業振興、事業効果、土質調査、測量調査等）から、構想・計画・設計・施工監理までを行うことができ、分野も建築、土木、都市計画等幅広く行うことができる総合コンサルタントとして成長を続けています。

土木設計部では、道路、鉄道、河川、港湾、空港、公園、その他、国土を形成する様々なインフラストラクチャーに関わる調査、計画、設計、施工、維持・管理等を担っています。

（国建ホームページ <http://www.kuniken.co.jp/civilengineering/index.html>）



土木設計部内の様子



社員のコミュニケーションルーム



旭橋再開発事業

周辺道路の改良・駅前広場整備・デッキ(横断歩道橋)整備に取り組んでいます。



本部港(本部地区)

岸壁、防波堤、護岸、上屋、緑地等の配置計画、それらの施設設計を行っています。



今帰仁城跡

公園緑地・文化財・景観・サインデザイン・上下水道等に関わる設計を行っています。

Message

私は港湾・海岸担当者として岸壁や防波堤、護岸などの設計を行っています。

我社は50年以上の歴史があり、先輩方が積み重ね引き継いできた信頼があります。

大切な財産を継承するためにも、先輩方を超えるスキルを身につけることが目標です。



仲里 健作

那覇高校 / 茨城大学卒



ダムの役割について

沖縄総合事務局開発建設部流域調整課

仕事の紹介 沖縄総合事務局 開発建設部 流域調整課

沖縄総合事務局では、洪水を防ぎ、水道用水などを供給する目的で福地ダムをはじめとする9つの多目的ダムを管理しています。(図1、写真1、写真2、写真3)

沖縄本島で1日に使用される水(約44万m³)の約8割(約35万m³)が9つのダムから供給されています。(図2)

ダム建設時、環境にも配慮しており、漢那ダムでは第2貯水池をビオトープ※として整備し、水鳥やトンボなどの貴重な生息地となっています。(写真4)

また、ダム湖を活用した地域振興の支援を行っており、安波ダムでは亜熱帯ジャングルカヌー体験を行っています。(写真5)

※生物や植物が生活できるように復元した空間



写真1 福地ダム(東村)

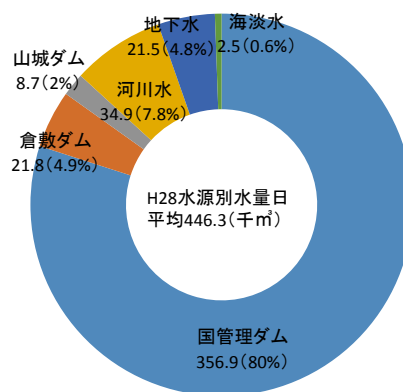


図2 H28水源別水量日平均

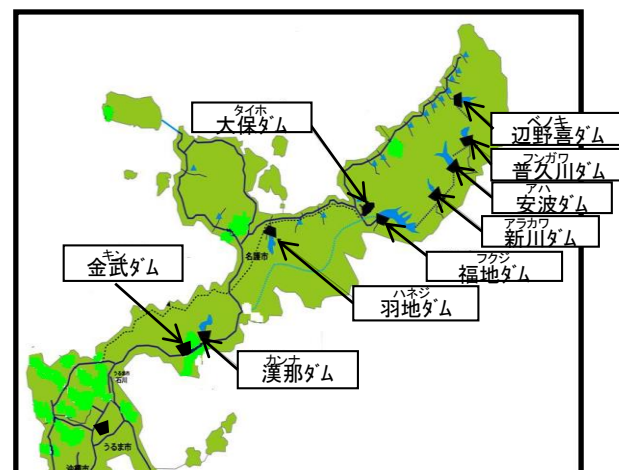


図1 沖縄の多目的ダム



写真2 コンピュータによるダムの管理



写真3 定期的に上空から地形を調査

Message

普段何気なく使用している水道水がどこから来ているのか考えたことはありますか。ダムに関わる仕事は生活、防災、観光など多岐にわたり、沖縄の水について考える重要な仕事だと思います。今話題のダムカードも各ダムにありますので、ぜひ足を運んでみてください。鹿屋高校(県外)/琉球大学 水流宗孝

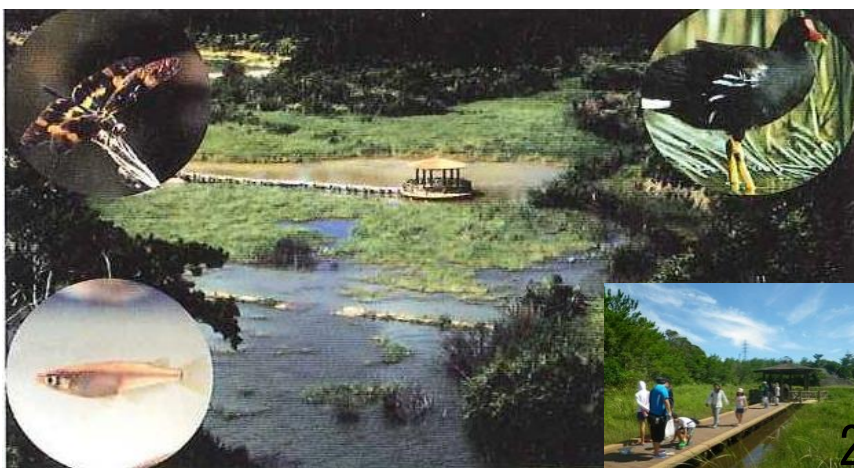


写真4 小学生などの環境学習の場となっています



写真5 迫り来る亜熱帯のジャングルを抜け川の生物観察を体感

令和元年度 現場見学会

日時：2019年8月9日(金) 13:30～15:30

場所：宜野湾北中城線



土木学会西部支部沖縄会技術委員会

インフラの劣化予測と残存性能の診断に関する小委員会

～令和元年度 技術小委員会 活動報告～

1. 今年度の活動状況

(1) 第7回委員会（今年度第1回）

開催日時：2019年6月13日（土）14：30～15：30

開催場所：琉球大学工学部2号館2階大会議室

参加人数：13名（オブザーバー2名，合計15名）

議 題：①前年度活動報告

②今年度の活動計画

③非破壊検査機器等の実装結果報告

- ・磁気を利用した非破壊検査のプレテン桁計測結果（9/26～9/27実施結果）
- ・NIMS塩分センサによる塩分測定結果

(2) 小委員会活動（打合せ）

開催日時：2019年6月14日（金）14：00～15：00

開催場所：川田建設（株）沖縄営業所

参加人数：1名（協力会社2名，計3名）

活動内容：旧後原橋の桁底面における磁気を利用した非破壊検査と研り検査による検証を行う際の研り箇所復旧方法等の打合せ

(3) 小委員会活動（現地確認）

開催日時：2019年7月12日（金）

開催場所：旧後原橋

参加人数：1名

活動内容：非破壊検査と研り検査計画前の旧後原橋の河川状況と桁底面の現状確認

(4) 小委員会活動（現地打合せ）

開催日時：2019年7月25日（木）11：00～12：00

開催場所：旧後原橋

参加人数：1名（協力会社2名，計3名）

活動内容：非破壊検査と研り検査計画前の旧後原橋の河川状況と桁底面の現状確認および実施方法打合せ

（次頁に続く）

(5) 小委員会活動（管理者打合せ）

開催日時：2019年8月23日（金）10：00～10：30

開催場所：沖縄総合事務局 北部国道事務所会議室

参加人数：2名（管理者3名，計5名）

活動内容：旧後原橋における実施計画の事前説明（実施承諾）

(6) 小委員会活動（実作業）

開催日時：2018年9月27日（火）～2018年9月31日（土）

開催場所：旧後原橋（名護市）

参加人数：2名（共同研究者3名，協力会社2名，計6名）

活動内容：旧後原橋の桁底面の磁気の利用による非破壊検査実装（写-6-1～11 参照）

- ・磁気を利用した非破壊検査実施（研り前，研り後）
- ・桁底面研り実施
- ・研り検査（PC鋼材の腐食状況，破断位置確認，記録等）
- ・研り箇所の復旧作業実施



[写-6-1 着磁作業状況]

[写-6-2 磁気非破壊検査(計測状況)]



[写-6-3 研り作業状況]



[写-6-4 研り作業後状況]

（次頁に続く）



[写-6-5 研り後再着磁作業状況]



[写-6-6 研り後非破壊検査計測状況]



[写-6-7 ケレン作業状況]



[写-6-8 防錆材ペースト塗布状況]



[写-6-9 型枠設置状況]



[写-6-10 左官による仕上げ作業状況]



[写-6-11 復旧作業完了]

(次頁に続く)

2. 今後の活動予定

- (1) 磁気を利用した非破壊検査の測定精度
…非破壊検査、研り検査の比較検証まとめ（作業中）

- (2) 撤去桁（後原橋）による非破壊検査
…P C鋼より線 7 本よりφ10.8mmの腐食破断状況確認等

- (3) 上記測定結果・分析等の報告会（委員会開催）

土木学会西部支部 沖縄会 令和元年度収支決算書(案)

(単位:円)

収支科目	令和元年度 予算額 (a)	令和元年度 決算額 (b)	差異 (a)-(b)	備考
I 事業活動収支の部				
1.事業活動収入				
(1)会費収入	(330,000)	(330,000)	0	
①法人	330,000	330,000	0	5,000円*66社
(2)ランチ支援金	(120,000)	(120,000)	(0)	
(3)事業収入	(30,000)	(51,000)	△ 21,000	
①行事収入	30,000	51,000	△ 21,000	
①-1総会会費収入	0	0	0	
①-2定例会会費収入	0	0	0	
①-3講演講習会収入	30,000	39,000	△ 9,000	講演会 CPDS参加費
①-4研究調査発表会収入	0	12,000	△ 12,000	研究発表会 CPDS参加費
(4)雑収入	(0)	(4)	△ 4	
①受取利息・配当金	0	4	△ 4	銀行利子
(5)繰入金収入	(0)	(0)	0	
①支所繰入金収入	0	0	0	
事業活動収入(A)	(480,000)	(501,004)	△ 21,004	
2.事業活動支出			0	
(1)事業費支出	(648,000)	(514,261)	133,739	
①講習会費	200,000	195,635	4,365	講演会1回
②研究発表会費	58,000	60,512	△ 2,512	印刷、記念品等
③広報費	225,000	188,985	36,015	橋の日・土木の日、ポスター郵送
④現場見学会費	90,000	32,940	57,060	バス借上
⑤その他、総会	75,000	36,189	38,811	会場借上、配布資料印刷
⑥拠出金	0	0	0	
(2)管理費	(35,000)	(18,770)	16,230	HP管理費等、残高証明書等
(3)繰越金支出	(0)	(0)	0	
①特別会計繰越支出			0	
事業活動支出計(B)	(683,000)	(533,031)	149,969	
事業活動収支差額(C)=(A)-(B)	△ 203,000	△ 32,027	△ 170,973	
II.投資活動収支の部			(0)	
1.投資活動収入			(0)	
(1)特定貯金取崩収入	(0)	(0)	(0)	
①支部運営積立貯金取崩収入			(0)	
投資活動収入計(D)	(0)	(0)	(0)	
2.投資活動支出			(0)	
(1)固定資産取得支出	0	0	(0)	
(2)特定貯金支出	(0)	(0)	(0)	
①支部運営積立貯金支出	0	0	(0)	
投資活動支出計(E)	0	0	(0)	
投資活動収支差額(F)=(D)-(E)	0	0	(0)	
III.予備費支出(G)			0	
当期収支差額(H)=(C)+(F)+(G)	△ 203,000	△ 32,027	△ 170,973	
前期繰越収支差額(I)	424,467	424,467	0	
次期繰越収支差額(H)+(I)	221,467	392,440	△ 170,973	

令和元年度 監査報告書

令和元年度(一社)土木学会西部支部沖縄会の収入・支出及び財産につき関係諸帳簿及び、証拠書類を監査の結果、適正かつ正確に経理されていることを確認する。

令和2年 6月 17日

監査役 国立大学法人 琉球大学 名誉教授

有住廉則 

監査役 (一社) 沖縄県測量建設
コンサルタンツ協会 会長

池村 弘 

令和2年度 主要事業計画（案）

1. 土木学会西部支部沖縄会総会

(1) 企画内容等

令和元年度の事業実施を報告し、令和2年度の事業計画を審議する。なお、運営委員会後に、会員に資料を郵送（若しくはメール）し、書面表決書にて承認を得ることとする。

(2) 開催日時

令和2年7月

2. 講演会の開催

(1) テーマ：沖縄会10周年記念講演

(仮) グローバル社会における災害リスクマネジメントのあり方
～持続可能な社会経済基盤とその活動とは～

(2) 講演者：以下の2氏を候補として、今後調整を行う。

特別講演 ①講演会候補者【藤井氏（京都大学）防災・減災・リスクマネジメント】
〃 【塚田氏（土木学会専務理事）】

(3) 開催時期：令和2年10月（予定）

(4) 開催方法：会場は琉球大学（大講義室または50周年記念会館）として、参加人数を収容人数の50%以下となるように事前登録制とする。なお、講演は録画して、後日、HPにて会員へ配信する。

なお、新型コロナの感染拡大状況によっては、以下に適宜変更を行って実施する。

変更：録画配信

幹事・事務局が講演者と調整して録画し、後日、HPにて会員へ配信する。

3. 講習会等の開催

(1) 沖縄会主催の技術講習会を予定

：内容、日程を調整中。

(2) インフラメンテナンス国民会議

：インフラメンテナンス国民会議沖縄フォーラムとの共催。

：インフラ点検・補修に関する新技術導入等

：日程調整中

(3) ブリッジインスペクター講習会

- ：琉球大学工学部附属地域創生研究センターの後援。
- ：橋梁点検技術者講習会（国土交通省認定資格）
- ：令和2年12月（予定）

4. 第10回技術研究発表会（沖縄会10周年記念）

(1) 企画内容等

沖縄会、沖縄総合事務局、沖縄県合同技術研究発表会を開催し、大学、主要発注機関、コンサルタント等から発表論文を募集し、より活性化を図る。年に1回開催する。

(2) 開催日時

令和3年1月（予定）

(3) 開催場所

西原町 琉球大学

(4) 開催方法

現時点では例年通りの実施計画とする。また、10周年記念事業として、過去10回分をCDに収納し、次年度の総会などで会員へ配布する。また、要望に応じて会員へ郵送する。

なお、新型コロナの感染拡大状況によっては、以下の2案に適宜変更し実施する。

変更1：規模縮小。

当日の参加を予約制とし、収容人数の50%以下で実施する。また、換気を行うとともに、発表者と座長は必要に応じてマスクまたはフェイスガードを着用する。

変更2：オンラインで実施。

原則、発表者と座長は、大学内のWifi環境下にてオンラインでプレゼンと司会進行を行う。その他の会員は、別場所でオンラインに参加する。

5. 広報活動

(1) 土木の日シンポジウム（沖縄会10周年記念）

- ・土木の日（11月18日）にあわせ、土木工学に係るシンポジウムを開催。
テーマ：新しい日常に対応するインフラの在り方－Withコロナー（仮称）
- ・開催日時：令和2年11月6日（金）13：00～17：00（予定）
- ・開催場所：パレット市民劇場（那覇市）
- ・開催方法：規模縮小して開催、若しくは無観客での開催を予定。

注1：7月末時点で、収容定員の半分程度で開催ができる場合は、規模を縮小して開催。（先着順で200名程度）

注2：7月末時点で、収容定員の半分程度で開催ができない場合は、無観客で開催。なお、シンポジウムは録画して、後日、HPで配信。

(2) 橋の日イベント

- ・ 橋の日（8月4日）にあわせ、県内橋梁の歴史調査、清掃などを行う。
- ・ 開催日時：令和2年8月4日頃の予定
- ・ 開催場所：奥武山公園 北明治橋（予定）
- ・ 開催方法：新型コロナ感染の現状と屋外でのイベント開催であることを踏まえ、例年通り実施する。周辺の学童等の参加に関しては、担当の沖縄県の方で調整を行う。また、手指消毒、マスクまたはフェースシールド等の感染防止対策は実施する。

なお、新型コロナの感染拡大状況の変化によっては、以下に変更して実施する。

変更：規模縮小。

会長（または幹事長）、担当の県の副幹事長と他スタッフ1名、琉球大の副幹事長、琉球大の幹事1名、学生10名未満。同窓会会長と他1名の総計20名以下で実施する。学童等には声をかけない。動画または写真をHPで配信する。

(3) 土木・社会基盤の仕事高校生向けPRポスター作成および配布、沖縄会HPへ掲載。

(4) その他

6. ホームページの管理・運営

各種事業の取組みに合わせて適宜情報を提供し、広報等に活用。

以上

土木学会西部支部 沖縄会 令和2年度予算書(案)

(単位:円)

収支科目	令和2年度 予算額 (a)	令和元年度 予算額 (当初) (b)	差異 (a)-(b)	備考
I 事業活動収支の部				
1.事業活動収入				
(1)会費収入	(340,000)	(330,000)	10,000	
①法人	340,000	330,000	10,000	5,000円*68社
(2)ランチ支援金	(120,000)	(120,000)	0	支部交付金(発信する会へ)
	120,000	120,000	0	
(3)事業収入	0	(30,000)	△ 30,000	
①行事収入	0	30,000	△ 30,000	
①-1総会会費収入	0	0	0	
①-2定例会会費収入	0	0	0	
①-3講演講習会収入	0	30,000	△ 30,000	
①-4研究調査発表会収入	0	0	0	
(4)雑収入	0	0	0	
①受取利息・配当金	0	0	0	
(5)繰入金収入	0	0	0	
①支所繰入金収入	0	0	0	
事業活動収入(A)	(460,000)	(480,000)	△ 20,000	
2.事業活動支出				
(1)事業費支出	(633,000)	(648,000)	△ 15,000	
①講習会費	300,000	200,000	100,000	講演会、講習会、会場借上げ費等
②研究発表会費	78,000	58,000	20,000	会場借上げ費、記念品等
③広報費	225,000	225,000	0	橋の日・土木の日、ポスター郵送費
④現場見学会費	0	90,000	△ 90,000	バス借上げ費等
⑤その他、総会	30,000	75,000	△ 45,000	配布資料印刷・郵送費等
⑥拠出金	0	0	0	
(2)管理費	(35,000)	(35,000)	0	HP管理費等、残高証明書等
(3)繰越金支出	0	0	0	
①特別会計繰越支出	0	0	0	
事業活動支出計(B)	(668,000)	(683,000)	△ 15,000	
事業活動収支差額(C)=(A)-(B)	△ 208,000	△ 203,000	△ 5,000	
II.投資活動収支の部				
1.投資活動収入				
(1)特定貯金取崩収入	0	0	0	
①支部運営積立貯金取崩収入	0	0	0	
投資活動収入計(D)	0	0	0	
2.投資活動支出				
(1)固定資産取得支出	0	0	0	
(2)特定貯金支出	0	0	0	
①支部運営積立貯金支出	0	0	0	
投資活動支出計(E)	0	0	0	
投資活動収支差額(F)=(D)-(E)	0	0	0	
III.予備費支出(G)				
当期収支差額(H)=(C)+(F)+(G)	△ 208,000	△ 203,000	△ 5,000	
前期繰越収支差額(I)	392,440	424,467	△ 32,027	
次期繰越収支差額(H)+(I)	184,440	221,467	△ 37,027	

沖縄会会長及び会計監事の選出について（案）

○沖縄会規約第12条によると役員の任期は2カ年と規定されていることから、規約第10条、第12条及び沖縄会会長選出申し合わせ事項に基づき、新役員の選任を提案する。

土木学会西部支部 沖縄会 規約(抜粋)

(役員の選出)

第10条 役員の選任方法は、次のとおりとする。

1. 会長および会計監事は本会に所属する会員の中から幹事会及び運営委員会の審議を経て総会で選任する。
2. 副会長は会長が委嘱する。
3. 運営委員、幹事長及び副幹事長並びに幹事は会長が委嘱する。

(役員の職務)

第11条 役員の職務は次のとおりとする。

1. 会長は、会を代表し、総会及び運営委員会の議長となる。
2. 副会長は、会長を補佐し、会長に事故ある場合その職務を代行する。
3. 会計監事は、本会の会計監査を行い、総会に報告する。
4. 運営委員は、本会に関する重要な事項について、会長の諮問に応ずる。
5. 幹事長は、会長及び副会長を補佐し、会務を処理する。
6. 副幹事長は、幹事長を補佐し、必要に応じて幹事長の職務を代行する。
7. 幹事は、幹事長及び副幹事長とともに幹事会を構成し、幹事長及び副幹事長を補佐して会務執行する。

(役員の任期)

第12条 役員の任期は2ヶ年とする。ただし、再任は妨げない。

- 2) 任期中の異動等により任務の遂行が不可能となった場合、原則として前任者の所属する機関からの推薦を受けるものとする。この場合、任期は前任者の残存期間とする。

付則)

1. この規約は平成23年9月20日より施行する。
2. 初年度は会長及び会計監事を総会で選任する。
3. 初年度は特別会員A、特別会員Bを総会で承認する
4. この規約は平成24年7月4日より施行する。
5. 平成29年7月18日一部改定

沖縄会会長選出に係る申し合わせ事項(案)

第1条 会長は、原則として下記に掲げる機関から輪番で選出するものとする。

- ・ 琉球大学 工学部
- ・ 内閣府 沖縄総合事務局
- ・ 沖縄県

第2条 会計監事は、原則として運営委員機関から2名選出するものとし、1名は会長選出機関、もう1名は(一社)沖縄県測量コンサルタンツ協会、(公財)沖縄県建設技術センター、(一社)沖縄建設業協会から輪番制で選出するものとする。

第3条 副会長は、第1条に掲げる機関のうち、会長が選出されていない機関から会長が委嘱することを基本とする。

第4条 幹事長は会長を選出している機関から、会長が委嘱することを基本とする
2) 幹事長は副幹事長を兼ねることが出来る。

第5条 副幹事長は第1条に掲げる機関から1名ずつ選出する。
2) 次期会長選出機関は、総会・運営委員会・幹事会等に係る運営事務を担う。

付則) 1. 本申し合わせ事項は平成25年6月25日より施行する。

2. 平成29年7月18日一部改定
3. 平成30年7月12日一部改定

沖縄会役員輪番表(案)

	平成23年度～平成25年度	平成26年度～平成27年度	平成28年度～平成29年度	平成30年度～平成31年度	令和2年度～令和3年度
運営委員会					
会長	琉球大学 名誉教授 矢吹哲哉	内閣府 沖縄総合事務局 次長 申合せ事項 第1条より	沖縄県 土木建築部 部長 申合せ事項 第1条より	琉球大学 教授 申合せ事項 第1条より	内閣府 沖縄総合事務局 次長 申合せ事項 第1条より
副会長	内閣府 沖縄総合事務局 次長 尾澤 卓思	沖縄県 土木建築部 部長 申合せ事項 第3条より	琉球大学 教授 申合せ事項 第3条より	内閣府 沖縄総合事務局 次長 申合せ事項 第3条より	沖縄県 土木建築部 部長 申合せ事項 第3条より
副会長	沖縄県 土木建築部 部長 富銘 健一郎	琉球大学 教授 申合せ事項 第3条より	内閣府 沖縄総合事務局 次長 申合せ事項 第3条より	沖縄県 土木建築部 部長 申合せ事項 第3条より	琉球大学 教授 申合せ事項 第3条より
会計監事	琉球大学 工学部 教授 (会長選出機関) 有住 康則	沖縄県総合事務局開発建設部 企画調整官(会長選出機関) 高井 嘉親	沖縄県土木整備統括監(会長選出機関) 上原 国定	琉球大学(会長選出機関) 申合せ事項 第2条より	沖縄県総合事務局開発建設部 企画調整官(会長選出機関)
会計監事	沖縄県測量建設コンサルタント協会 (民間) 砂川 徹男	(一財)沖縄県建設技術センター理事長(民間) 伊禮 年男	(一社)沖縄県建設業協会 会長(民間) 下地 米蔵	(一社)沖縄県測量建設コンサルタント協会 (民間) 申合せ事項 第2条より	(公財)沖縄県建設技術センター理事長(民間) 申合せ事項 第2条より
幹事会					
幹事長	琉球大学 工学部 准教授 下里 哲弘	沖縄総合事務局開発建設部 技術管理課長 申合せ事項 第4条より	沖縄県土木建築部 技術・建設業課長 申合せ事項 第4条より	琉球大学 申合せ事項 第4条より	沖縄総合事務局開発建設部 技術管理課長 申合せ事項 第4条より
副幹事長	沖縄総合事務局 開発建設部 技術管理課 新垣 哲	沖縄県土木建築部 技術・建設業課長 申合せ事項 第5条1より	沖縄総合事務局, 沖縄県, 琉球大学 申合せ事項 第5条1より	沖縄総合事務局, 沖縄県, 琉球大学 申合せ事項 第5条1より	沖縄県土木建築部 技術・建設業課長 申合せ事項 第5条1より
事務局	内閣府 沖縄総合事務局 技術管理課	沖縄県土木建築部 技術・建設業課 申合せ事項 第5条2より	琉球大学 申合せ事項 第5条2より	内閣府 沖縄総合事務局 技術管理課 申合せ事項 第5条2より	沖縄県土木建築部 技術・建設業課 申合せ事項 第5条2より

R2年度 土木学会西部支部 沖縄会 役員名簿 (R2/7/1時点)

※赤字が新役員案 箇所

○ 運営委員会

役職等	氏名	所 属
会 長	小口 浩	内閣府 沖縄総合事務局 次長
副 会 長	上原 国定	沖縄県 土木建築部 部長
副 会 長	有住 康則	琉球大学 名誉教授
会計監事	和田 賢哉	内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部 企画調整官
会計監事	玉城 佳卓	(公財) 沖縄県建設技術センター 理事長
運営委員	矢吹 哲哉	琉球大学名誉教授
〃	伊東 孝	琉球大学 工学部 教授
〃	下里 哲弘	琉球大学 工学部 教授
〃	島袋 善明	沖縄県 土木建築部 土木整備統括監
〃	中島 靖	内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部 部長
〃	池村 弘	(一社) 沖縄県測量建設コンサルタンツ協会 会長
〃	白幡 伸明	防衛省 沖縄防衛局 調達部 次長
〃	金城 博	(一社) 沖縄しまたて協会 専務理事
〃	津波 達也	(一社) 沖縄県建設業協会 会長
〃	小早川 弘	(一財) 港湾空港総合技術センター 沖縄支部長
〃	玉城 徹也	沖縄県港湾空港建設協会 会長
〃	与那嶺 恵伸	(一社) 日本道路建設業協会 沖縄支部長
〃	川満 秀昭	沖縄電力(株) 送配電本部 配電部長
〃	本山 和幸	西日本高速道路(株) 九州支社沖縄高速道路事務所 副所長
〃	澤 卓史	(独) 都市再生機構 沖縄まちづくり支援事務所 所長

○ 幹事会

役職等	氏名	所 属
幹 事 長	内里 清一郎	内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部 技術管理課長
副幹事長	島袋 一英	沖縄県 土木建築部 技術・建設業課長
〃	下里 哲弘	琉球大学 工学部 教授
〃	内里 清一郎	内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部 技術管理課長
幹 事	富山 潤	琉球大学 工学部 教授
〃	田井 政行	琉球大学 工学部 助教
〃	須田 裕哉	琉球大学 工学部 助教
〃	久野 和磨	防衛省 沖縄防衛局 調達部 土木課長
〃	真栄里 嘉孝	(一社) 沖縄県建設業協会 理事
〃	神村 美州	(一社) 沖縄県測量建設コンサルタンツ協会 専務理事
〃	友寄 孝	(一社) 沖縄しまたて協会 理事 技術環境研究所 所長兼 技術環境部長
〃	仲松 辰弥	(公財) 沖縄県建設技術センター 試験研究部長
〃	金城 健	(一財) 港湾空港総合技術センター
〃	佐々木 秀尚	沖縄県港湾空港建設協会 副会長
〃	伊集 朝徳	(一社) 日本道路建設業協会 事務局長
〃	名護 理	沖縄電力(株) 送配電本部 配電部 配電センター長
〃	和田 吉憲	西日本高速道路(株) 九州支社沖縄高速道路事務所 統括課長
〃	伊藤 浩二	(独) 都市再生機構沖縄まちづくり支援事務所 主幹
〃	石垣 伸	(一社) 日本建設業連合会九州支部沖縄支所 支所長

沖縄会特別会員B名簿(団体会員)

番号	会社名	代表者	構成員数	備考
1	(一財)港湾空港建設総合技術センター沖縄支部	支部長 小早川 弘	2	
2	西日本高速道路(株)九州支社 沖縄高速道路事務所	副所長 本山 和幸	2	
3	(一社)日本道路建設業協会 沖縄支部	支部長 与那嶺 恵伸	2	
4	日本ファブテック 株式会社 沖縄営業所	所長 新垣 庸造	2	
5	(株)ピーエス三菱 沖縄営業所	所長 赤嶺 文繁	2	
6	(株)大本組 沖縄営業所	所長 鍋島 委己	3	
7	前田建設工業(株)九州支店 沖縄営業所	所長 若林 昭彦	1	
8	佐藤工業(株) 沖縄営業所	営業所長 梶原 仁	1	
9	(株)安部日鋼工業 沖縄営業所	営業所長 国吉 正哉	1	
10	極東興和(株)沖縄営業所	所長 田原 俊彦	1	
11	東急建設(株) 沖縄営業所	所長 小園 幸広	1	
12	(株)鴻池組 沖縄営業所	所長 鮫島 秀喜	2	
13	東亜建設工業(株)	所長 町田 喜代寿	2	
14	(株)小波津組	代表取締役社長 小波津 英正	18	
15	(公財)沖縄県建設技術センター	理事長 玉城 佳卓	3	
16	川田工業(株)沖縄営業所	所長 比嘉 智	1	
17	(株)大林組 九州支店 沖縄営業所	所長 井出 直喜	2	
18	東洋建設(株) 沖縄営業所	所長 堀井 洋佑	2	
19	琉球開発(株)	社長 宮城 久雄	2	
20	鹿島道路(株) 沖縄営業所	所長 箴島 寿浩	1	
21	西松建設(株) 沖縄営業所	所長 吉田 卓生	1	
22	(株)大米建設	社長 下地 米蔵	2	
23	(株)高橋土建	代表取締役社長 玉城 俊夫	2	
24	(株)大城組	代表取締役社長 仲西 聰	2	
25	若築建設(株)	所長 諸見川 和也	1	
26	仲程土建(株)	代表取締役社長 仲程 俊郎	1	
27	ドービー建設工業(株)沖縄営業所	沖縄営業所長 金城 徹也	2	
28	コーアツ工業(株)	沖縄営業所長 友利 和隆	1	
29	飛鳥建設(株)沖縄営業所	所長 長谷部 聡	1	
30	(一社)沖縄県建設業協会	会長 津波 達也	2	
31	(一社)沖縄県測量建設コンサルタンツ協会	会長 池村 弘	2	
32	(株)大寛組	代表取締役 大濱 均	1	
33	(一社)沖縄しまたて協会	理事長 木下 誠也	4	
34	沖縄電力(株)	配電部長 川満 秀昭	2	
35	沖縄県港湾空港建設協会	会長 座波 博史	2	
36	(株)富士ビー・エス沖縄営業所	所長 大城 敦	1	
37	(株)TTES	代表取締役 菅沼 久忠	1	
38	(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会 九州支部	九州支部長 長尾 徳博	2	
39	川田建設(株) 沖縄営業所	所長 渡久地 政胤	1	
40	五洋建設(株) 九州支店 沖縄営業所	所長 佐々木 秀尚	1	
41	宮地エンジニアリング(株)沖縄営業所	営業所長 村島 康文	1	
42	(株)中央建設コンサルタント	代表取締役 砂川 秀樹	2	
43	(株)沖縄環境保全研究所	代表取締役 平良 辰二	2	
44	株式会社 沖 技	代表取締役社長 照屋 義明	14	
45	株式会社 ナカポーテック 沖縄営業所	所長 飛鳥 齊	2	
46	オリエンタル白石株式会社 沖縄営業支店	白石 俊夫	2	
47	牧港建設(株)	代表取締役 平良 平長	1	
48	南洋土建(株)	代表取締役社長 比嘉 森廣	14	
49	株式会社ウイング総合設計	代表取締役 宮城 良博	12	
50	株式会社 技建	宮野 伸介	12	
51	(株)南城技術開発	代表取締役 城間敏夫(土木学会正会員)	14	
52	金秀沖縄ピーシー(株)	代表取締役社長 宮 憲男	5	
53	永技研株式会社	代表取締役社長 前里 幸三	5	
54	(株)横河ブリッジ那覇営業所	所長 真喜志 一寛	1	
55	NPO法人グリーンアース	代表理事 鈴木 浩一	4	
56	株式会社 プラズワイヤー	代表取締役社長 宮崎 文宏	2	
57	株式会社安藤・間 沖縄営業所	営業所長 片岡 善行	3	
58	(株)仲本工業	代表取締役 仲本 豊	2	
59	琉球セメント株式会社	代表取締役社長 中村 秀樹	2	
60	株式会社沖縄建設新聞	代表取締役社長 古謝 昇	1	
61	株式会社 オカベメンテ	代表取締役 岡部 成行	1	
62	西日本高速道路 総合サービス沖縄株式会社	代表取締役社長 藤本 秀勝	2	
63	鉄建建設株式会社 九州支店 沖縄営業所	沖縄営業所長 大園 光義	2	
64	金秀鉄工株式会社	代表取締役 川満 彦三	1	
65	株式会社 ホープ設計	代表取締役社長 親泊 宏	1	
66	株式会社 南伸	代表取締役 久米 仁司	1	
67	株式会社 国建	代表取締役社長 比嘉 盛朋	1	
68	東京ファブリック工業株式会社	事業本部長 丸山 正博	1	
69	株式会社 アジア技研	代表取締役 与那覇 紀	1	
		小計	195	
	防衛省 沖縄防衛局	調達部長 井上 主勇	2	行政
	沖縄県 土木建築部	沖縄県 土木建築部長 上原 国定	5	行政
	沖縄総合事務局	沖縄総合事務局 次長 小口 浩	5	行政
	(独)都市再生機構 沖縄都市再生事務所	所長 澤 卓史	2	法人正会員
	日本工営(株)	代表取締役 廣瀬 典昭	2	法人正会員
		小計	16	
		合計	211	

退会届

新規加入

土木学会西部支部 沖縄会 規約

(名称)

第1条 本会は、土木学会西部支部沖縄会（以下「本会」という）といい、土木学会西部支部ブランチ(分会) 制度細則（平成23年7月25日制定）に基づくものである。

(目的)

第2条 本会は、会員相互の土木技術の向上・研鑽・親睦交流、国際的視野に立った情報発信を行い、沖縄の自然・社会条件を踏まえた土木工学の発展と沖縄の振興および自立的発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 本会は前条の目的を達成するため、次の事業を行う

1. 土木工学に関する研究発表会、講演会、見学会、視察等の実施
2. 土木学会活動の沖縄地域への普及・広報活動
3. 会員間の親睦に寄与する行事
4. 土木工学に関する図書、印刷物の刊行
5. 土木工学に関する奨励、援助
6. 土木工学教育及び土木技術者教育への支援
7. 土木関係資料の収集・保管・公開
8. その他本会の目標達成のために必要な事業

(会員)

第4条 本会の会員は次の資格を有するもので構成する。

1. 正規会員
 - A 沖縄県内に在住するか又、県域内の土木工学にたずさわる土木学会正会員・フェロー会員・名誉会員
 - B 沖縄県内に在住する土木学会学生会員
2. 特別会員
 - A 沖縄県内に在住するか又は、沖縄県内の土木工学にたずさわりの、本会の目的事業に賛同する個人
 - B 沖縄県内に在所するか又は、沖縄県内の土木工学にたずさわりの、本会の目的事業に賛同する団体

特別会員の構成員は、将来的に土木学会正規会員となることが望ましい。

(入会及び会費)

第5条 特別会員に係る入会及び会費は次のとおりとする。

- 1 特別会員になろうとするものは、土木学会西部支部沖縄会細則(以下「細則」という)で定めるところにより入会手続きを行い、幹事会の承認を得なければならない。
- 2 特別会員は、細則(初年度は総会)において定める会費を納入しなければならない。
- 3 既納の会費は返還しない。

(退会)

第6条 特別会員で退会しようとする者は、所定の義務を完了した後、退会届を提出しなければならない。また、特別会員の団体構成員は特別会員の退会と同時に退会したと見なす。

(除名)

第 7 条 会員が会(土木学会及び沖縄会)の名誉を傷つけまたは会の目的に反する行為をするに至ったときは、総会の議決によって当該会員を除名することができる。

特別会員の団体構成員は特別会員の除名と同時に除名とする。

(会員資格の喪失)

第 8 条 前 2 条の場合のほか、会員は、次に該当するに至ったときは、その資格を喪失することができる。また、特別会員の団体構成員は特別会員の資格喪失と同時に資格喪失とする。

1. 第 5 条の支払義務を 1 年以上履行しなかったとき。

(役員)

第 9 条 本会に次の役員を置く。

1. 会長 1 名
2. 副会長 2 名
3. 会計監事 2 名
4. 運営委員 若干名
5. 幹事長 1 名
6. 副幹事長 3 名
7. 幹事 若干名

- 2) 幹事長、副幹事長は運営委員と兼務することができるものとする。

(役員を選任)

第 10 条 役員を選任方法は、次のとおりとする。

1. 会長および会計監事は本会に所属する会員の中から幹事会及び運営委員会の審議を経て総会で選任する。
2. 副会長は会長が委嘱する。
3. 運営委員、幹事長及び副幹事長並びに幹事は会長が委嘱する。

(役員職務)

第 11 条 役員職務は次のとおりとする。

1. 会長は、会を代表し、総会及び運営委員会の議長となる。
2. 副会長は、会長を補佐し、会長に事故ある場合その職務を代行する。
3. 会計監事は、本会の会計監査を行い、総会に報告する。
4. 運営委員は、本会に関する重要な事項について、会長の諮問に応ずる。
5. 幹事長は、会長及び副会長を補佐し、会務を処理する。
6. 副幹事長は、幹事長を補佐し、必要に応じて幹事長の職務を代行する。
7. 幹事は、幹事長及び副幹事長とともに幹事会を構成し、幹事長及び副幹事長を補佐して会務を執行する。

(役員任期)

第 12 条 役員任期は 2 年とする。ただし、再任は妨げない。

- 2) 任期中の異動等により任務の遂行が不可能となった場合、原則として前任者の所属する機関からの推薦を受けるものとする。この場合、任期は前任者の残存期間とする。

(総会)

第 13 条 会長は、毎事業年度終了後、総会を開催し、また、必要に応じて臨時総会を開催する。

- 2) 総会の議長は、会長がこれに当たる。
- 3) 総会は、次の事項について決議する。
 1. 沖繩会の事業報告及び収支決算の報告
 2. 沖繩会の事業計画及び予算
 3. 沖繩会の規約等の制定及び改正
 4. 会長、会計監事の選任
 5. その他、沖繩会運営に関する重要事項
- 4) 総会は、沖繩会に所属する正規会員及び特別会員 B の 1/20 以上の出席をもって成立し、出席者の過半数の賛成で決議する。ただし、委任状を提出した者については、出席者とみなす。

(運営委員会)

第 14 条 運営委員会は、会長、副会長、運営委員および会計監事をもって構成し、議長は会長がこれに当たる。

- 2) 運営委員会は、原則として年 1 回以上開催することとし、会長が招集する。
- 3) 運営委員会は、次の事項について決議する。
 1. 沖繩会の事業報告(案)、収支決算(案)
 2. 沖繩会の事業計画(案)及び予算(案)
 3. 会長候補者及び会計監事候補者の選出
 4. その他、沖繩会総会の権限に属するものを除く、沖繩会運営に関する基本的事項
- 4) 運営委員会は、運営委員の過半数の出席をもって成立し、出席者の過半数の賛成で決議する。ただし、委任状を提出した者については、出席者とみなす。

(幹事会)

第 15 条 幹事会は、幹事長、副幹事長及びすべての幹事をもって構成し、議長は幹事長がこれに当たる。

- 2) 幹事会は、原則として年 2 回以上開催するものとし、幹事長が招集する。
- 3) 幹事会は、総会で承認された事業計画及び予算に基づき、会務を執行するとともに、年度途中で発生した会務運営に関する事項の具体策を検討し、実施する。
- 4) 幹事会の運営については、幹事会が別途運営細則を定める。
- 5) 幹事会は、幹事の過半数の出席をもって成立し、出席者の過半数の賛成で決議する。ただし、委任状を提出した者については、出席者とみなす。

(委員会)

第 16 条 会長は、第 3 条の事業を行うために、次の委員会を設けるものとする。また、必要があるときは、原則として運営委員会の審議を経て、新たな委員会を設けることができる。

1. 沖繩の土木技術を世界に発信する会
2. 技術委員会
- 2) 各委員会は、会長が委嘱した委員長および委員によって構成する。
- 3) 各委員会の運営細則は、各委員会が別途定めるものとする。

(事業報告、事業計画、収支決算及び予算)

第 17 条 本会の事業報告、事業計画、収支決算及び予算は毎年度の当初において幹事会で作成し

運営委員会の承認を得て総会に諮るとともに、土木学会西部支部幹事会に報告するものとする。また、西部支部からの支援を受けようとする事業については、西部支部幹事会の承認を諮るものとする。

(経費等)

第 18 条 本会の経費は特別会費を徴しこれにあてるほか、西部支部からの交付金、事業に伴う収入および協力金による。

(会計年度)

第 19 条 本会の会計年度は毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わる。

(事務所)

第 20 条 本会の事務所は浦添市勢理客 4 丁目 18 番 1 号、(一社)沖縄しまたて協会内に置く。

(規約の変更)

第 21 条 この規約は総会の決議を得なければ変更することが出来ない。ただし、軽微なものはこの限りでない。

(その他)

第 22 条 本会は土木学会定款、規則及び西部支部規定を遵守し活動を行うものである。

- 付則)
1. この規約は平成 23 年 9 月 20 日より施行する。
 2. 初年度は会長及び会計監事を総会で選任する。
 3. 初年度は特別会員 A、特別会員 B を総会で承認する
 4. この規約は平成 24 年 7 月 4 日より施行する。
 5. 平成 29 年 7 月 18 日一部改定
 6. 令和元年 6 月 5 日一部改定